

議会だより



梅とメジロ (寝屋川市写真協会提供)

誌面のご案内

定例会のあらまし	1
一般質問	
大阪維新の会議員団	2~3
公明党市会議員団	3~4
自由民主党市会議員団	4~5
シン・ネヤガワ議員団	5
日本共産党市会議員団	6
議決結果一覧	7

12月定例会を開催

- 一般質問で議員 20 人が登壇
- 議員報酬月額を減額する旨の条例の一部改正を全会一致で可決

議員提案

令和6年4月からの 議員報酬を1割削減!

「寝屋川市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正」を各会派共同提案で提出し、全会一致で可決しました。

<(例) 議員報酬の支給月額>

【条例本則】 【現行】 【令和6年4月~】
660,000円 ➡ **643,000円** ➡ **594,000円**

※議員報酬は条例本則では660,000円(正副議長等を除く)ですが、令和元年1月から643,000円に減額しておりました。今回の改正は、660,000円から1割削減するものです。

意見書

12月定例会で可決した意見書は、次のとおりです。

- ◆認知症との共生社会の実現を求める意見書
- ◆介護・障害福祉分野における処遇改善等を求める意見書
- ◆食品ロス削減への更なる推進を求める意見書
- ◆難聴者の補聴器購入に対する補助制度の創設を求める意見書



会期

12月4日~12月19日
(16日間)

市長提出議案 …… 27件

報告…………… 2件

条例…………… 7件

予算…………… 8件

その他…………… 10件

議員提出議案 …… 5件

条例…………… 1件

意見書…………… 4件

12月定例会

議案審議



小学校給食費の無償化の追加補正

【補正額】 **9,000万円**

小学校給食費の無償化を継続

実施期間

令和6年1月
~令和6年3月

対象者

寝屋川市立小学校に在籍
している児童

対象経費

対象児童の給食費

所得制限

なし



寝屋川市ペット霊園の設置等に関する条例の制定



目的

ペット霊園や移動火葬の利用者の保護と良好な生活環境の保全のため新たに条例を制定

主な内容

- ペット霊園や市内で移動火葬を業として行うには公衆衛生その他公共の福祉の見地から市長の許可が必要
- ペット霊園設置許可には、事前協議等や各種規制があり設置にあたっては禁止地域等を設ける。

施行日

令和6年4月1日(一部は「公布の日」)

水道料金(基本料金)免除

【補正額】

2億4,799万6,000円

市民及び市内業者への経済的負担を軽減するため、水道料金のうち基本料金の全額を免除

実施期間

令和6年2月~令和6年3月(検針分)

(仮称)駅前庁舎改修工事(建築主体工事)

工事請負契約の締結

【契約金額】

2億5,575万2,200円

工期

完成 令和6年10月31日



主な議案と概要

令和5年12月定例会では、すべての市長提出議案を可決・承認・適任としました。

大阪維新の会議員団

持続可能なまちづくりのため、
経済的合理性と市民との合意形成を

中川 健
奥 大輔
川口 肇人
瀬戸 健太
福田 篤志
古田 尚央
森越 清楓

日常生活自立支援事業について

問 日常生活自立支援事業の現在の職員配置人数、市の負担金額とその財源は。

答 専門員4人、生活支援員4人。市の負担金額は補助金2548万9千円で一般財源である。

問 待機解消に向けた状況について伺う。

答 社会福祉協議会が申込者の状況確認や支援の工夫など、待機期間の縮小につながる取組を進めている。

寝屋川市立望が丘小中学校の
成果目標について

問 寝屋川市立望が丘小学校・中学校の設計・建設費用及び備品等調達費用の累積額は。

答 設計、建設工事費、備品等購入費等で合計88億830万7千円。外構工事費、解体工事費等が合計11億4886万5千円。追加費用が、工事費用のインフレスライド請求等で合計11億6193万3千円。今後発生する見込みのグラウンド整備工事等は、金額を精査中。



令和6年4月開校の望が丘小学校・中学校
(令和5年11月現在 全景)

問 小中一貫校計画前と、開校後に想定している児童・生徒数の比較は。

答 児童・生徒数は、計画前の平成27年度は、明和小学校、梅が丘小学校、第四中学校で合計894人。開校後の令和6年度の想定は、969人となり、約8%の増加となる。

問 小中一貫校の維持管理にかかるランニングコストについて、児童生徒一人当たりの金額が、既存学校と比較して高額になるようなことか。現時点での見込みは。

答 光熱水費等について、通常の面

積割で試算した場合でも、他の学校と比較して著しく高額になるようなことは無いものと認識している。

地域包括支援センターについて

問 現在、職員に欠員が出ているセンターは何か所あるか。

答 5か所である。

問 委託料、人員、設置区域等、根本から体制を見直す必要があるのではないか。見解を伺う。

答 人員等、体制については、現在、法令に定める基準は満たしているが、国が提示する様々な指標もできる限り満たせるよう、今後の更なる高齢化等を踏まえて、検討していく。

幼稚園、小・中学校の運動会
(体育大会) 開催時期について

問 開催日程についての決定権者は誰か。

答 校園長会で決定しており、教育委員会は報告を受けている。

問 今の10月1日前後の開催は、熱中症リスクが非常に高いため、保護者から少し涼しくなった頃の開催を希望する声が上がっているが、そのことを市で把握しているか。

答 校園長会では、各校の教育課程に基づき、保護者の声を聴き、既に検討を進めている。

国松地区のまちづくりについて

問 周辺住民からの「市から事前に丁寧な説明が無く、検討から排除されていたこと」の苦情に対する、市

の見解を伺う。

答 土地所有者で構成する土地区画整理組合が事業主体となって進める事業であり、事業計画の検討に必要なボーリング調査など、こも池を含めた基礎調査を行うため、事業協力の大本組において、すでに令和4年11月には地区周辺住民に説明が行われている。

問 こも池を残した住宅建設への計画変更を強く要望する。今の計画は市民の意見を無視してまでも進めるだけの価値を見出すことができない。見解を伺う。

答 衛生的な課題や維持管理費用の課題について、将来に先送りするのはなく、課題解消につながる良好な市街地整備を進めることにより、子育て世代に選ばれる魅力と活力のあるまちの創出を図っていく。

シティプロモーションについて

問 市全土を挙げての市民参加型の美化運動と犯罪撲滅の取組を行うことについて見解を伺う。

答 多くの市民に「当事者意識」を持っていただけるようなまちの美化などのマナー向上に関する取組について、昨年度から部局横断的に検討しているところであり、多くの市民が市の変化を実感できる施策となるよう取り組んでいく。

公園の老朽化について

問 安全で安心して使用できる公園トイレの整備についての考えを伺う。

答 安全で安心して使用できる公衆トイレについては、公園等の在り方についての計画の中で検討を進めている。

京阪バス路線廃止について

問 路線廃止に対して市が行ったアクションについて伺う。

答 路線が廃止されると公共交通ネットワーク及び市民の貴重な交通手段に影響を及ぼすことから、廃止

については再検討するよう申し入れを行った。

問 現状の赤字路線の把握状況は。

答 廃止される3路線を含め、他の路線が数路線あると、京阪バスから聞き及んでいる。

予算編成方針について

問 経常収支比率について、数値として目標値等はあるのか。

子育て・教育・福祉こそ希望！

公明党市会議員団

高見 雄介
岡 由美
坂口 安喜子
武田 由利子
辻谷 恵一
村上 順一

市内4駅前のにぎわい活性化について

問 市内4駅前に寝屋川をアピールできる「ねやがわ映えスポット」を設置することへの見解を伺う。

答 本市を効果的にアピールする手段として、「メディアとしての施策」を意識した政策立案等を進めており、それらの活用を見極めながら市の魅力の発信に取り組んでいく。

児童生徒への金融リテラシー教育について

問 社会に出て自力で生きていくためには、金融の知識は不可欠である。小中学校教育の中での金融リテラシー教育の実施についての見解を



子育て家庭の孤立化を防ぐことが大切です

伺う。

答 学習指導要領に基づき、学習カリキュラムの中で金銭の管理や金融の学習を行っており、今後も、自身の考えや意見を持ち、判断できる「考える力」を育んでいく。

答 現在、「財政規律ガイドライン」における目標は達成しているが、少子高齢化の進行や物価高騰を始めとする経済情勢の変動などの要素を勘案する中で、引き続き、府内都市平均を下回る数値を目標としていく。

公共交通等のあり方について

問 廃止される3路線をタクシ事業業者による小型バスの活用や行政中心によるコミュニティバス運用について検討してはどうか。

答 他の交通事業者による運行など、利用者の影響を最小限に抑える方策について検討を行っている。

問 国土交通省が支援する「共創モデル実証運行事業」などを活用し、AIオンデマンド交通などを検討してはどうか。

答 現在の代替案の1つの手法として考えている。

犯罪被害について

問 犯罪被害者支援条例を制定し、見舞金や医療費の支給、転居費用・休業損害・配食サービスなどの施策を検討すべきと考えるが見解を伺う。

答 条例制定や犯罪被害者への支援については、市単独の実施よりも、国・府など、広域的な対応が求められる課題と認識している。

答 公共施設に係る更新・改修費用や人口減少による影響を想定した場合、10%を上回るダウンサイジングが必要。「施設総量のダウンサイジング」と「市民サービスの充実・強化」を同時に達成することを目指し、数値目標や期間も含めて現在検討している。

介護と仕事の両立支援について

問 介護者が職場で安心して休暇が取れるよう介護休業、介護休暇についての周知、取得の推奨を実施することは可能か。

答 市広報、ホームページ等を通じて幅広い周知を行うとともに、フレックス制導入などの市の取組を対応事例の一つとして情報提供するなど、市内企業における働き方改革の促進につながる取組を進めていく。

ながらスマホによる事故防止策について

問 ながらスマホによる悲惨な事故が起こらないよう、「寝屋川市ながらスマホの防止に関する条例」の制定についての見解を伺う。

答 自転車運転時のスマホの使用は、道路交通法や寝屋川市自転車安全利用条例で規定しており、歩きスマホに関しては、交通事故等を引き起こす可能性のある危険な行為であると認識しており、今後、他市の事

例を参考に調査・研究していく。

文化芸術活動の支援について

問 市文化連盟には、高齢化が進み、休会を余儀なくされている団体もある。市として今後の支援の在り方をどう考えているか。

答 市文化連盟の意見を丁寧に聞く中で、引き続き、支援に努める。

防災について

問 避難所のペット受け入れを進めていくスターターキットの導入を提

案するが、市の見解を伺う。

答 避難場所での適切な飼育管理を行い、一般の避難者からの苦情やトラブルを避ける上でも有効な取組であると認識している。引き続き、避難所でのペット受入体制の整備等を推進する。

問 トラブルを未然に防ぐためにも、実際にペットを連れ避難訓練を開催する必要があると考えるが、見解を伺う。

答 ペットの飼育場所の確認等の基本ルールの内容を共有しておくため

にも、必要であると認識している。

高齢者が活躍できる場について

問 シルバー世代の就労的活動の機会づくりのための現在の取組と課題、今後の新たな取組の見解を伺う。

答 介護予防・日常生活支援総合事業などの有償活動へのシルバー世代の参加を促進するとともに、シルバー人材センターとの連携を図っている。今後は、働くことを希望するシルバー世代の就労機会や生きがいを出出できるよう取り組んでいく。

子育て家庭の孤立化を防ぐ対策について

問 子育て家庭が孤立しないよう、支援員などが訪問できるきっかけ、子育て支援の施設に足を運ぶきっかけとして、経済的支援の取組を導入することに對して見解を伺う。

答 子育て支援課を始めとする相談窓口に足を運んでもらうことが重要であると認識しており、先進事例を参考に調査研究していく。

自由民主党市会議員団

市民生活の危機を踏まえた政策

(地域公共交通・医療・教育) 提言

森本雄一郎
金子 英生
北川 千尋
北川 健治

望が丘小中一貫校開校について

問 新年度では臨時の門を設置することで、狭い道路を多くの児童生徒が通行する。混雑等による事故防止のため、一定距離を置いた場所に監視員を設置してはどうか。

答 あらゆる手段を検討しており、更なる安全確保につなげる。

問 一斉登校のプレテストの実施、あるいは新一年生の入学式の登校時には本番並みの通学安全体制を執らしたい。保護者同伴の登校でもあったりするため2-3学年分の人数での登校が体験できる。見解を伺う。

答 プレテストについては実施時期

や内容等について学校、保護者、地域とも連携して検討を進めている。



我が会派が改良を要望している交差点

問 寝屋川公園駅西側の交差点を歩車分離式、スクランブル交差点にするることについてはどうか。

医師の働き方改革について

答 警察へ要望している。

2024年4月から医師の時間

問 2024年4月から医師の時間外労働の上限規制と健康確保措置の適用が法改正で為される。本市には14病院施設があるが、診療時間及び診療科に関する影響につき見解は。

答 一般的に、医師の確保が特に難しく、時間外労働時間が多いとされる小児科や救急科等において、診療時間の短縮等が懸念される。

問 市内民間病院での市民の診療に關してどのような影響が出てくるか。

答 市内14病院において、診療時間や診療科など、診療体制の縮小を予定している病院は無く、現状の診療体制を維持できると考えている。

京阪バスの路線廃止について

問 一部路線廃止の経緯及び理由は。9月に京阪バスから廃止検討の

申入れがあり、市として廃止を取り止めるよう協議したが、運転手不足から廃止は避けられないとあった。

問 廃止路線の利用者数は。

答 令和4年度の1日の延べ利用者数は50系統276人、51・52・53系統で163人、54・55系統で97人となっている。

問 代替策の具体案及び開始時期は。

答 利用者の影響を最小限に抑える方策を検討しているところである。

問 新たな地域公共交通網形成計画はいつ出てくるのか。

答 立地適正化計画の改定時期に合わせ、令和7年3月に策定予定。

ドクターカーの運用について

問 現行の運用が平日の午前9時から午後5時の8時間であり、運用開始後一つも変わっていない。ドクターカーの使命からすれば、より一層の運用の幅を拡げるべきである。

運用の幅を広げるハードルは何か、またそれを超える解決策は。そして運用拡大の意気込みについて伺う。

答 令和4年7月に枚方市、交野市、枚方市寝屋川消防組合及び本市でドクターカー検討会を設置し、関西医科

大学附属病院に対して運用時間帯を拡充するための検討依頼をするも、人員の確保が困難であり、現在の運用時間帯を維持することとなった。引き続きドクターカーの運用拡大に向け、関係機関と協議を続けていく。

シン・ネヤガワ議員団 9万人の足に影響！

生活の足の確保策に迫る!!

板東 敬治
西尾 勝成
馬場 才
久野 須賀子

健康まちづくりについて

問 健康づくりの重点事業と目標は。
答 特定健康診査事業で国が定めた国保受診率の目標値60%を目指す。
問 ウォーカブルな街の検討状況は。
答 寝屋川市駅・萱島駅前リニューアルの検討において調査・研究中。
問 健康無関心層の割合は。
答 市民の6割から7割存在する。
問 勤労世代を対象とした「健康経営」に取り組んでほしいが見解は。
答 主な実施主体である企業との連携を推進する中で進めていく。

バス路線廃止と対策等について

問 路線廃止ではなく減便で対応できない理由は聞いているか。
答 運転手不足で客数が少ない赤字路線の廃止は避けられないとのこと。
問 特に黒原ルートは乗降客が多い。影響の大きなピーク時の状況は。
答 年間のピーク時で最大20人で、

乗車率は最大55・6%。

問 廃止後に今のバス路線の継続運行を強く要望するが代替案は。
答 他の交通事業者による運行や代替交通手段など、利用者の影響を最小限に抑える方策を検討している。



廃止3路線を走るバスと同系のバス

問 5年前から自動運転の具体策を提案している。自動運転導入に向けた庁内組織を立ち上げてはどうか。
答 国は2030年を目途に本格的な無人自動運転の普及を目指しており、市として、交通政策課が主体と

なり先進事例を調査していく。

避難所へのキーボックス設置について

問 複数の人で避難所を開設できるように、他自治体で取り入れられているキーボックスの設置を求めているが。
答 地域の鍵保有者の負担軽減を図ることができるとの仕組みについて、現在検討を進めている。

いじめ防止基本方針について

問 平成28年策定の「いじめ防止基本方針」が、他自治体の方針と非常に似ている。本市の状況を勘案し見直しを検討すべきと考えるが見解は。
答 新たな市独自のいじめへのアプローチ内容を包含し、目指すべき方向性を示す内容に改定していく。

多様性のある都市公園について

問 各小学校区へのインクルーシブな公園等の設置についての見解は。
答 すべての子どもが遊べる機能等は公園の在り方を検討する上で、重要な要素と認識している。

野外活動センターについて

問 テント泊キャンプ場の整備や近隣自治体施設との連携は可能か。
答 市民ニーズ把握に努める中で調査し、近隣市と意見交換を行いたい。

大谷選手のグローブの寄贈について

問 グローブの寄贈時期と内容は。

全員協議会を開催

令和5年12月25日(月)に全員協議会を開催し、以下の内容について説明を受けました。

【協議内容】

寝屋川市感染症予防計画(素案)について

※全員協議会とは・・・市政に関する主要事業等について共通の認識を持つため、議員全員が集まって開かれる会議です。



答 令和6年3月20日までに市立全小学校に各校3個、寄贈されると大阪府から聞いている。
問 大谷選手の「野球に触れて欲しい」の趣旨を考慮した運用となるか。
答 寄贈の意図を踏まえ活用することを検討している。

日本共産党市会議員団

市内バス路線継続

市民の声が届く市政に

中林 和江
西田 昌美
松尾 信次

京阪バスの路線継続を

問 京阪バス3路線の廃止で年間20万人の利用者に影響が出る。市民から存続を求める声が寄せられている。市として、代替案の対応策を検討しているところがあるが見通しは。
答 他の交通事業者による運行や代替交通手段など、利用者の影響を最小限に抑える方策を検討している。

市職員の待遇改善を

問 寝屋川市では正規職員より非正規職員の数が増えている。恒常的な仕事は正規職員が担うこと。非正規の8割が女性。ジェンダー平等を実現するためにも、正規と非正規、男性と女性の格差是正を図ること。
答 近隣市の状況や民間企業と同職種の給与などを踏まえ、適切な処遇の確保に努める。

物価高騰支援の実施を

問 物価高騰で苦しむ飲食店などに市として物価高騰支援を求める。
答 国・府の動向を注視し検討する。地域包括支援センターの専門職の欠員対策と委託費引上げを求める。

答 事業者と連携し欠員への対応を進める。委託費は国や他市の動向を踏まえ、適宜検討する。



高齢介護施設での食事風景

問 障害者の就労支援として市独自の職場実習の奨励金の交付を求める。
答 国や他自治体の動向を注視する。補聴器購入補助の実施を求める。
問 国に要望し、調査研究する。
答 わくわく商品券は障害・高齢者が申込みしやすいよう改善を求める。実施主体の商団連と協議している。

子育て支援の拡充を

問 登校支援教室の増設への見解は。新たな活動場所を検討するとともに、不登校児童生徒の学びの場の

確保を図っていく。
問 子ども食堂への支援金の増額を求めるが見解は。
答 補助金の増額について改善の余地はあると認識しているが、適切な支援の在り方についても検討が必要。

古川バイパス管工事の現場見学会を開催

古川バイパス管工事における現場見学会を令和6年1月11日（木）に開催しました。同工事は、古川水路の流量負担を軽減し浸水被害を防ぐため、同水路に流入している雨水をバイパス管に取り込み一級河川寝屋川へ排水することを目的に実施するものです。当見学会では、発進前に組立・設置されたシールドマシンや発進立坑内の様子などを見学するとともに、工事の概要等についての説明を受けました。



議 会 日 誌

- 〔11月〕
- 6日 議会広報委員会
- 17日 幹事長会
- 22日 全員協議会
- 28日 議会運営委員会
- 〔12月〕
- 4日 本会議(第1日)／議会広報委員会
- 5日 健康福祉常任委員会(※)
- 6日 文教生活常任委員会(※)
- 7日 総務都市創造常任委員会(※)
(※)各常任委員会終了後に予算決算常任委員会分科会を開催
- 8日 予算決算常任委員会／議会運営委員会
- 13日 本会議(第2日)
- 14日 本会議(第3日)
- 15日 本会議(第4日)／議会運営委員会
- 19日 議会運営委員会／本会議(第5日)／予算決算常任委員会総務都市創造分科会／予算決算常任委員会
- 25日 全員協議会
- 〔1月〕
- 11日 古川バイパス工事現場見学会
- 15日 議会広報委員会



12月定例会 議決結果一覧



議案番号	件名	議決結果
認定第1～8号	令和4年度寝屋川市一般会計歳入歳出決算認定（他5特別会計、2公営企業会計）	認定
報告第11～12号	専決処分の報告（訴えの提起）（他1件）	承認
議案第98号	寝屋川市職員定数条例の一部改正	可決
議案第99号	寝屋川市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例及び寝屋川市水道事業及び下水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正	可決
議案第100号	寝屋川市一般職の職員の給与に関する条例及び寝屋川市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正	可決
議案第101号	寝屋川市手数料条例の一部改正	可決
議案第102号	寝屋川市ペット霊園の設置等に関する条例の制定	可決
議案第103号	寝屋川市国民健康保険条例の一部改正	可決
議案第104号	寝屋川市立学校園の学校園医、学校園歯科医及び学校園薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部改正	可決
議案第105～110号	令和5年度寝屋川市一般会計補正予算（第8号）（他予算案件5件）	可決
議案第111号	工事請負契約の締結（寝屋川市第四中学校区小中一貫校施設整備工事に伴う旧校舎棟解体等工事）	可決
議案第112号	工事請負契約の締結（（仮称）駅前庁舎改修工事（建築主体工事））	可決
議案第113号	財産の取得（庁内ネットワークパソコン）	可決
議案第114号	財産の取得（寝屋川市学校給食センターの学校給食調理用備品）	可決
議案第115～118号	指定管理者の指定（寝屋川市公園墓地）（他3件）	可決
議案第119号	人権擁護委員候補者の推薦（道上 雅司）	適任
議案第120号	人権擁護委員候補者の推薦（荒木 裕美）	適任
議案第121号	令和5年度寝屋川市一般会計補正予算（第9号）	可決
議案第122号	令和5年度寝屋川市水道事業会計補正予算（第2号）	可決
議員提案第10～13号	認知症との共生社会の実現を求める意見書（他3件）	可決
議員提案第14号	寝屋川市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	可決

予定

3月定例会の案内

※2月20日に議会運営委員会が開催されます。

本会議・委員会は午前10時を予定しています。（2月27日の文教は午後2時からです）議事の都合で変更される場合があります。

市議会を傍聴しませんか？

市議会が開かれる本会議や委員会の様子はどなたでも傍聴することができます。議会棟2階へ御越しください。



日	月	火	水	木	金	土
2/25	26	27	28	29	3/1	2
	本会議	健福・文教	総務・予算決算	本会議		
3	4	5	6	7	8	9
			本会議 （代表質問）	本会議 （代表質問）	健福	
10	11	12	13	14	15	16
	健福	文教	議運	文教		
17	18	19	20	21	22	23
	総務			総務	予算決算	
24	25	26	27	28	29	30
	議運・本会議					

健福：健康福祉常任委員会・分科会 文教：文教生活常任委員会・分科会 総務：総務都市創造常任委員会・分科会 予算決算：予算決算常任委員会全体会 議運：議会運営委員会